



# 事務所通信

小笠原税理士事務所

〒272-0034 千葉県市川市市川 1-21-7-405

mei\_222@circus.ocn.ne.jp

TEL 047-326-5677・FAX 047-322-5244



真冬の清流にわさびの棚田が美しい（中伊豆）

## 令和2年1月の税務と提出期限

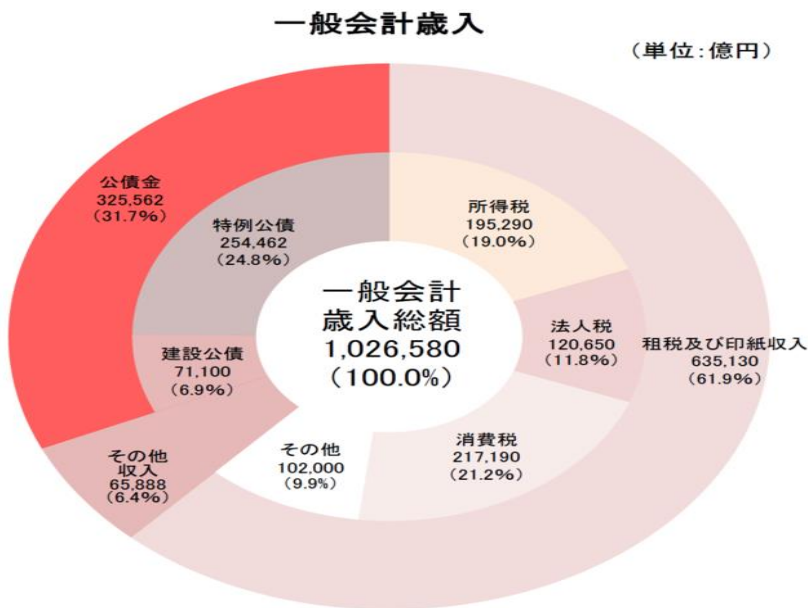
- ① 1月10日・・・令和元年12月分源泉所得税・住民税の特別徴収税額の納付期限
- ② 1月20日・・・年2回の源泉所得税の納付の特例適用者は、前年7月～12月までの徴収分を納付
- ③ 1月31日・・・令和元年11月30日決算法人の確定申告期限（法人税・消費税・法人事業税等）  
支払調書・給与支払報告書の提出・固定資産税の償却資産に関する申告

## 今月の気になった記事

- ①**土地の相続登記、義務化**・・・法務省は、2020年秋に、民法や不動産登記法の改正案の提出をめざす。所有者不明土地は、被相続人の死亡後相続人が登記簿上の名義を書き換えないうまま放置する例が多い。原案では、登記を怠ったら罰則を課す。罰金は「10万円以下」、「5万円以下」の案が検討されている。
- ②**固定資産税、過払いの頻発**・・・固定資産税を巡る課税計算ミス。東京23区と20政令市の固定資産税の還付実績は、2018年度14万4500件で、合計額は71億8800万円だった。過去5年で最高。
- ③**キャッシュレス利用急増、ポイント還元予算上積み**・・・政府が10月に始めたキャッシュレス決済時のポイント還元制度について、終了する2020年6月末までに投じる国の予算額が数千億規模で膨らむ見通しとなった。利用の急増で予算4千億円が3千億円多い7千億円規模になる。予算額の上限は設けていない。

# 2020年度 国家予算案

2020年度予算案での一般会計の歳出総額は、102兆6580億円と8年連続で過去最高を更新した。

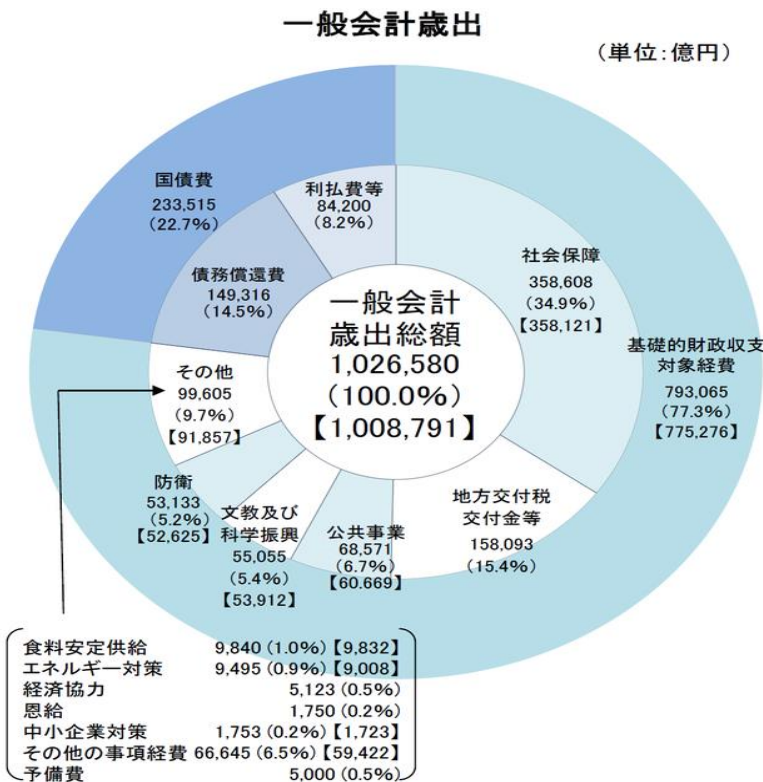


一般会計の歳出総額は102兆6580億円で、2年連続100兆円を突破した。2020年度予算案の税収は、63兆5130億円と予算ベースで過去最大である。消費税が、史上始めて税収が多い税目となった。これまでは、所得税だった。税収は、2019年度当初予算と比べて1兆超の増加である。内訳は、消費税が2兆3270億円の増加で、所得税4050億円法人税7930億円の減少となっている。

歳出総額は102兆6580億円で、2019年度当初予算と比べて1兆2009億円の増加である。しかし、この中には、「臨時・特別の措置」1兆7788億円が加味されている。臨時・特別の措置とは、消費増税対策でもあるキャッシュレス・ポイント還元事業の2020年度分2703億円や「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(2018年12月14日閣議決定)の2020年度実施分1兆1432億円などが含まれる

## 社会保障費

社会保障関係費は、厚生労働省が予算要求した際に、自然増を5300億円と見込んでいた。その中から、医療で薬価を実勢価格の動向を反映して引き下げたり、介護保険で総報酬割が拡大することで国費を抑制したりするなどして、自然増を4111億円に抑えた。



歳出は、2020年度予算案の一般会計歳出（臨時・特別の措置を含む。ただし、【】内は通常分のみ）の額）2020年度は診療報酬の2年に1度の改定年度にあたる。医療従事者の技術料や人件費に充てる診療報酬を0.55%引き上げ、国費605億円を追加投入する。

## 時代のニーズを商機に！

### 時代の課題解決に商機を見いだす 12 社

会社名		企業価値
WHILL	デザイン性に優れ、段差を乗り越えやすい電動車椅子	345 億円
五常・アンド・カンパニー	新興国で金融が行き届かない人に小口融資	337 億円
ライフイズテック	中高生向けの IT・プログラミング教育キャンプ	209 億円
VISITS Technorogies	創造性やセンスを定量化、イノベーター人材の発掘支援	153 億円
atama plus	中高生の基礎学力を高める AI 活用の学習システム	106 億円
ユニファ	IOT を活用した体温の瞬時計測などで保育の負担を軽減	104 億円
よりそう	ネットを通じた低価格の葬儀や就活サポート	101 億円
クラウドクレジット	個人が海外の個人・事業者に融資する機会を提供	74 億円
トリプル・ダブリュー・ジャパン	超音波センサーを下腹部につけて、排泄時期を予測	51 億円
ジョリーグッド	VR を活用した医師や介護士向けの技術研修サービス	35 億円
CASY	増える共働き世帯を支える家事代行。低価格、スマホで予約。	31 億円

大企業の手が行き届かない、現在の課題を解決する。そんなスタートアップ企業が存在感を増している。ニーズがあるにも拘らずリスクを取れない大企業がビジネスにできていない領域で事業を行う。

## 税金のこと 世の中 いろいろ よもやま話

### 1. 相続税、税務調査で 9 割に申告漏れが見つかる

国税庁は、2019 年 6 月までの 1 年間に全国の国税局が実施した相続税の税務調査の結果を発表した。相続税は、2015 年に基礎控除額が引き下げられ申告が必要な課税対象者が拡大した。国税庁は、税の公平性の観点から、特に無申告事案を積極的に調査している。

### 2. 定額で各地の賃貸物件に住み放題

手軽に他地域居住できるインフラが整ってきた。定額で各地の賃貸住宅に暮らせる会員制サービスが相次いで誕生している。航空会社や鉄道会社と組んで割安に移動できる試みも始まり、都市と地方のつながりを深まられるとして協力する自治体が増加している。

### 3. スタートアップ出資、1 億円以上で減税、優遇税制の創設

「オープンイノベーション促進税制」と銘打った 2020 年度の税制改正大綱、大企業が設立 10 年未満の非上場企業に 1 億円以上出資したら、出資額の 20%相当を所得金額から差し引いて税負担を軽減する優遇措置を設ける。

### 4. 故人の住民税、相続人に納税義務が、

「住民税の課税対象は、1 月 1 日時点での住民」であるため、1 月 2 日に死亡して、その年の自治体からのサービスを一切受けられなくても税金を負担することになる。相続人は、納付を忘れると、延滞金が発生することもあるため、注意しよう。

